



甲州街道

東京国道事務所
東京の安心を作り、元気を支えます
http://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所
〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎 15・16階
TEL.03-3512-9090 FAX.03-3512-9889
【最寄り駅】 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅（6番出口）から徒歩約5分です。

この地図は、東京都庁事の承認を受けて、東京都都市整備局より提供された地形図（平成16年度）を基に、東京デジタルマップの東京版（平成17年度）を加工して作成したものである。（承認番号）19都基交 第412号

Legend:

- 国道 (National Route)
- その他の道路 (Other Roads)
- 首都高速 (Capital Expressway)
- 旧甲州街道 (旧甲州街道) (Maetsuyuki Street)
- 旧街道ルート (Old Street Route)
- 0.0km (Distance from Nishikyo-ji)
- JR線 (JR Line)
- 私鉄線 (Private Railway Line)
- 地下鉄線 (Subway Line)
- 都・県境界 (City/County Boundary)
- 区境 (District Boundary)
- 公園・緑地 (Park/Green Space)
- 区役所 (District Office)
- 学校 (School)
- 郵便局 (Post Office)
- 警察 (Police)
- 消防署 (Fire Station)
- 官公署 (Government Office)
- コンビニ (Convenience Store)
- ホテル (Hotel)
- 一般病院・医院 (General Hospital/Clinic)
- 東京災害拠点病院 (Tokyo Disaster Base Hospital)
- 救急指定病院 (Emergency Designated Hospital)
- 広域避難場所 (Wide-area Evacuation Site)
- 帰宅困難者支援施設 (Facility for Evacuees)
- 給水所・応急給水槽 (Water Station/Emergency Water Tank)
- 寺院 (Temple)
- 神社 (Shrine)
- トイレ (Toilet)
- 銭湯 (Public Bath)

21 仙川一里塚跡
甲州道中に築かれた一里塚のあったところである。江戸日本橋を起点としておよそ五里にあたる。一里塚は、普通五間（約9m）四方、高さ一丈（約3m）の定めに基づき築かれた。旅人は里程の目安したり、木陰で休息をとった。現在、塚のおもかげはないが、土地の人は今でもこのあたりを塚と呼んでいる。

22 武者小路実篤記念館と実篤公園
「白樺派」の代表的作家として文学ばかりか、美術、演劇、「新しき村」の運動や思想と幅広い分野にその足跡を残した武者小路実篤は、昭和30年（1955）に湧水と雑木林のこの地に移り住み、晩年の20年間をすごした。没後、同53年に屋敷跡を公園とした。また数々の作品や遺品を集めて記念館が60年に開設されている。

20 大橋場の跡と地蔵
街道から古い川筋脇の道にほんの数メートル入ったところに、武州千歳村大橋場跡と書かれた銅製の橋の親柱と、その脇に数対の地蔵がある。これは江戸時代にこの辺りの繁栄に寄与した地頭名主の下山一族の建てたもので、下山地蔵尊と称される。人々は身代わり地蔵尊出世地蔵尊と呼んたという。

19 葎花恒春園
徳富蘆花が明治40年（1907）から昭和2年（1927）にいくる直前まで住み、自ら恒春園と名付けた住居を中心とした公園である。没後10年に愛子夫人から東京市に寄付され、翌昭和13年（1938）に開園した。旧宅、記念館、墓所の恒春園地域と、周辺に児童公園、草地広場、花の丘などが整備され、武蔵野の面影を遺している。

18 「日本橋から4里目」標識とケヤキ並木
内藤新宿から高井戸の宿に向かう甲州街道には、現在ではその上を首都高速4号線が走っている。江戸時代、高井戸の宿は利用客が少ないため、下高井戸と上高井戸で月の半分ずつを交代で務め両宿合わせて1宿扱いであった。この2宿の間で、上を走る高速道路が右へ分かれてゆく手前の下に、日本橋から4里目の一里塚があった。現在では「国道20号線、日本橋まで16km」という標識がある。この先甲州街道は、ケヤキの並木が続く。

17 宗源寺
日蓮宗の寺で、本尊は十界諸尊。宗源寺の名は、他説があるが一説には、畠山宗利が入道して宗源と改名したことよるといわれている。南北朝時代の板碑や滝沢求馬筆の涅槃像などがある。このあたりが高井戸と呼ばれは高井山本覚院の高井堂であったためともされている。隣接して下高井戸の本陣があった。

16 覚蔵寺
日蓮宗の寺で、慶長年間に改宗建立された。日蓮聖人直刻といわれる鬼子母神像が安置され、江戸時代から庶民の信仰が厚い。「江戸名所図会」によれば、文永8年（1271）、日蓮が鎌倉龍ノ口法難のおり、老女（松野殿後家尼）からのゴマ餅供養のお礼に与えた鬼子母神像を、後に覚蔵寺第10世日蓮が老女の子孫から譲り受け祀ったものであるという。

甲州街道

日本橋 ▶ 四谷 ▶ 新宿 ▶ 上北沢 ▶ 大川橋（仙川）

東京国道
マップ

災害時に役立つ、防災拠点情報が入っています。ぜひ、活用下さい。

国道
 JR線
 私鉄線
 地下鉄線
 都境
 区境
 公園・緑地
 区役所
 学校
 郵便局
 警察
 消防署
 官公署
 コンビニ
 ホテル
 一般病院・医院
 東京災害拠点病院
 救急指定病院
 広域避難場所
 帰宅困難者支援施設
 給水所/応急給水槽
 寺院
 神社
 トイレ
 銭湯
 0.0km
 日本橋からの距離

14 東京オペラシティ

平成9年(1997)、小澤征爾指揮による「マイアミ愛楽曲」で抹茶とを合わせた東京オペラシティは、新国立劇場を含み、6つの劇場・ホール、2つの美術館を持ち、約50店舗のレストラン&ショップがある、日本有数の劇場都市である。



15 牛産地蔵

ここには昔刑場があり、牛裂きの刑が行われた。正徳元年(1710)、その蓋を鎮めるために左手に宝珠、右手に錫杖を持つ地蔵が建てられた。地蔵とは、仏教で釈迦が入滅して65億7千万年後に弥勒菩薩が現れるまでの間、民衆を救うために交通安全を願い、道徳を供養するという全国でも珍しい江戸時代の道徳供養塔が建てられている。



13 新宿追分

慶長9年(1604)の甲州街道に於いて同11年に青梅街道が、現在の新宿三丁目交差点のところから分岐して定められた。青梅街道は青梅を通って甲府の東で甲州街道に合流している。内藤新宿が誕生するその以前から、ここ追分にはいくつかの旅籠が建てられ、そのために、新駅は内藤新宿、追分は新宿追分といわれるようになった。



10 新宿御苑

江戸時代は信州高遠藩主内藤家の江戸下屋敷であり、玉川上水の水を利用した日本庭園のある景勝地であった。明治5年(1872)に官営農業試験場となり、同12年には宮内庁に移管され新宿植物園に、その後フランス人造園家の設計によって明治39年に現在とほぼ同じ形の新宿御苑が完成している。昭和24年(1949)に国民公園となり一般公開された。



12 太宗寺

太宗という名の僧侶が慶長元年(1596)ころに建てたとされる浄土宗の寺で、内藤家の菩提寺でもある。「内藤新宿のお伽蔵さん」しよぶつかのばあさんとして親しまれた閻魔大王と尊衣姿の像や、「江戸六地蔵」の3番目の銅像地蔵菩薩坐像などがあり、江戸庶民の信仰を集めた。数入りには縁日でも大いにぎわった。



9 東京みちの情報館

東京みちの情報館につきましては、多くの皆様にご利用をいただいておりますが、この度、閉館いたしました。長い間のご利用ありがとうございました。

8 四谷大木戸跡碑

江戸への西の出入口である。石垣の間に間口二間半の大木戸があり、番所が設けられて通行手形や米などの検問が行われた。門は四つ(午後10時)には閉められ、夜間は原則通行禁止であったが、実際は両脇のくぐり戸から通行させたという。江戸開府後間もない元和2年(1616)に設けられた。四谷大木戸の碑は、玉川上水の水記碑を利用している。すぐ隣に、玉川上水水記碑がある。



7 四谷消防署 消防博物館

四谷三丁目角の四谷消防署の建物に併設されている博物館である。江戸時代から現代に至る消防の歩みを一堂に集め、昭和57年(1982)まで現役だった消防ヘリコプターや馬牽き蒸気ポンプ、江戸の火消したちのジオラマなどを実物や資料、映像で楽しめる。



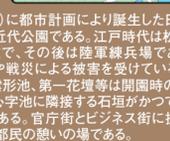
6 日本水準原点

明治24年(1891)5月、国は日本全国の土地の標高の原点をここに定めた。明治6年からの東京湾の潮位観測による平均海面位置から24,500メートルの数字をはじめ出したが、関東大震災(1923年)で変動し、1928年に現在の値(24,414.0メートル)がこの建物のなかの台石の水晶板の目盛りの染線に刻まれている。建物は小さいが、ローマ風神殿建築様式を模した明治期の貴重な近代洋風建築である。



5 日比谷公園

明治36年(1903)に都市計画により誕生した日本で初めての洋式近代公園である。江戸時代は松平肥前守等の屋敷で、その後は陸軍練兵場であった。関東大震災や戦災による被害を受けているものの、心字池や雲形池、第一花壇等は開園時の姿をどめている。心字池に隣接する石垣がかつての日比谷見付跡である。官庁街とビジネス街に挟まれ、一年を通して都民の憩いの場である。



3 将門首塚

時は平安時代、朝廷に原旗をひるがえし常陸から下総、下野など関東8カ国を平定し自ら新皇と名乗った関東武士・将門は、天慶3年(940)、平貞盛・藤原秀郷に攻められ下総国で滅ぼされた。その首は京の都大路でさらされたが、その3日後に首は白光を放ち東方に飛び去った。その落ちたところがあるという。その後、この場所にかかわるいくつかの伝説が生まれている。



2 迷子しらせ石

常盤橋の東に架かる一石橋のたもとにある。このあたりは日本橋付近の盛り場で、安政4年(1857)に付近の有力量が建立した。高さ約1.8メートル、正面に「満ち子の志るべ」、右側に「たづめる方」と刻まれ、迷子を探す人が左側に迷子の特徴を書いた紙を貼り、それを見て心当たりのある人が右側に紙を貼って知らせた。庶民の告知板である。



1 日本橋

慶長8年(1603)江戸開府の年に架橋し、翌年、五街道の起点と定められた。日本橋は今も国道の起点となっている。最初は丸太の二本橋であったともいわれるが、寛永の初期(1630年ころ)作の「江戸川屏風」では、擬宝珠(ぎぼし)つきの立派な反り橋として描かれている。現在の橋は明治44年(1911)に架けられたものである。



4 東京駅

日本の近代オフィス街の発着であった丸の内一丁(1丁)には、明治27年(1894)竣工の三菱一号館に始まるが、交通は市電しかなく不便であった。そこで辰野金吾工学博士設計による中央停車場(東京駅)が、大正3年(1914)に完成した。これが現在丸の内側に残っている赤煉瓦造の駅舎である。現在駅前は再開発が進み、東京の新しい玄関口としての姿を変えつつある。




0 500 1000m